

2023年 年頭にあたり
謹賀新年



本年も安全で質の高い医療・福祉を効率的かつ継続的に提供します

2023年新年明けましておめでとうございます。今年こそは皆さまにとって良い年になることを、心よりお祈り申し上げます。

さて、2022年は多くの方々にとって気持ちの良い年ではなかったであります。2023年は皆さまにどうぞございます。今年こそは皆さまにうれしい年になることを、心よりお祈り申し上げます。

さて、2022年は多くの方々にとって気持ちの良い年ではなかったであります。海外ではロシアの暴挙が私たちを暗い気持ちにさせましたし、国内では物価が上昇し、新型コロナは収束しました。医療の世界はコロナによって最も大きな影響を受けました。

私たちの法人はがん手術や通所リハビリテーションといったコロナ前の通常医療を行いながら、①職員を含む住民に対するワクチン接種、②コロナ感染した患者を外来で対応、③コロナに感染して入院治療が必要な患者の受け入れ等を行っています。①②③ともに非常に早期から対応し、社会貢献しなければなりませんが、その病棟に通常の患者は入院させられません。この補償制度として、空床補償制度を補う制度として、空床補償制度を作りました。しかし昨年末以来、この補償金額が減額されました。政府はすでに「コロナ対策として100兆円近い金額を種々の産業に分配したため、お金がなく種々の補助金を縮小せざるを得ないのでです。今後ますますコロナの補助金は減るでしょう。

職員各自適切なコロナ対策を行つ



社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院 理事長
松波 英寿

おかれましては、岐阜南部の中核病院であり、何でも頼める身近な病院として、当院により一層の御支持をお願い申します。職員の皆さんは地元のご期待に沿うべく、より一層頑張って業務に励んでください。

おかれましては、岐阜南部の中核病院であり、何でも頼める身近な病院として、当院により一層の御支持をお願い申します。職員の皆さんは地元のご期待に沿うべく、より一層頑張って業務に励んでください。

NEWS

当院をご利用される皆さまへ、新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

面会禁止、
夜間施錠について



発熱症状で
受診される方へ [来院前に
ご確認ください]



引き続き、多大なご迷惑とご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願ひいたします。各お知らせの詳細は、左のQRコードよりご確認ください。

松波総合病院柔道練習会のご案内

※2023年1月より活動場所が笠松町中央公民館から文武両道館(笠松町旧こども館)へ変更になりました。

日 時	毎週月曜日・木曜日(祝日は休止です) 17時30分～19時00分
場 所	文武両道館(笠松町旧こども館)
連絡先	058-388-0111(内線 51668) 松波総合病院 柔道部監督 松井

第39回危険業務従事者叙勲の受章について

2022年11月3日(木)に発令された第39回危険業務従事者叙勲に当院の業務部施設管理課所属の堀部 嘉雄さんが瑞宝単光章を受章しました。この叙勲は警察官や刑務官など危険性の高い業務に尽力し、社会に貢献した元公務員が対象です。堀部さんは元法務事務官副看守長の階級で、現在は病院の設備に関わる業務及び柔道部アドバイザーをしています。



第4回肥満治療講演会

事前申込が必要です。下記のQRコードより、チラシの詳細をご確認の上、お申し込みください。

テーマ
・
講師

第1部

第2部

日 時

場 所

「イシの力で行う正しいダイエット第4弾」
松波総合病院理事長 松波 英寿

「管理栄養士による肥満対策指導」
松波総合病院管理栄養士 海野 菜帆



2023年2月4日(土)14時00分～15時30分

松波総合病院 東エクステンション棟2F(ain薬局2F)

第22回全国障害者スポーツ大会の水泳入賞について

2022年10月29日(土)から31日(日)まで開催された第22回全国障害者スポーツ大会「いちごー会とちぎ大会」にて、当院の業務部購買管理課所属の鈴木 琢人選手が岐阜県代表として水泳(青年男子の部)に出場し、50m平泳ぎ2位、25m平泳ぎ3位に入賞しました。



◀業務部購買管理課所属
鈴木 琢人選手

新型コロナウイルス感染症対策に関する支援のご報告

このたび、当院へ温かいご支援をいただきました。厚く御礼を申しあげます。ご寄贈の品は当院で大切に使用します。

氏名・企業名	ご支援いただいた内容
カエタステクノロジー株式会社 様	ボディクリーム
一般財団法人国際クラブ 様	AED・美里のほん
高島 洋直 様	絵画

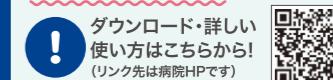
駐車場のご案内

立体駐車場への入庫は、左折のみとさせていただきます。右折入庫は渋滞の原因となりますので、右折入庫をなさらないよう、ご理解とご協力ををお願いいたします。



ARアプリ
COCOAR
導入しました!!

アプリを起動し、
「月刊まつなみ」の表紙でお試しください!!
ダウンロード・詳しい
使い方はこちらから!
(リンク先は病院HPです)



ともに新しい臨床経験でも記載していくことから、今後も定期的に発信していきたいと考えています。このように、当院は「コロナワクチン」の感染症の渦中でも情報を発信し続けるためには、病院自身にもスタッフなどに広い意味で大変な体力が必要です。本院からは「コロナワクチン」に関する臨床経験を英文で海外の「流医学雑誌」に3報も発表出来ました。「コロナ」に関する発表が諸外国に比べ日本発が極めて弱いという状況を考えると、私どもが岐阜医療圏の民間病院から3つも発信できたことは、自画自賛ではありますですが、大変な実績と誇らしく思います。もちろん「コロナ」以外の医学発表も継続してよいレベルにあります。

三つの点は最近認可発売された「コロナ治療薬」の臨床試験が、全国20病院・岐阜県下では本院一か所でのみ行われ、成功のうえ今日に至つているという点です。「コロナ治療薬」の開発は日本のみでなく国際的にも超緊急の課題であり、臨床試験が成功することはもちろん時間的な要請も極めて厳しいものがあります。当然臨床試験を依頼する側は病院の実力を深く分析・評価の上、選択します。どのような信頼に応え得る県下唯一の病院であったという点もやはり大変誇らしいことです。

このような底力を一層磨きながら新年も地域医療に邁進していく所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



社会医療法人蘇西厚生会
特別顧問
森脇 久隆



本年もよろしくお願ひいたします。

- ・「詰りを持って働く職場になる。」
- ・「選ばれる病院になる。」
- ・「地域包括ケアシステムの要として、日本一の民間病院になる。」
- ・「地域中核の社会医療法人として、地域の皆さまの健康をお守りするために、全職員が一丸となって、当院が果たすべき役割を担つてまいりたいと思います。」
- ・「本年も、よろしくお願い申し上げます。」

さて、当院では4つの3ヶ年ビジョンを掲げ、常に念頭に置きながら、日々の診療にあたっています。

【新年明けましておめでとうございます。2023年も、皆さまにおかれましては健康で幸せな1年でありますよう、祈念いたします。】

昨年2022年も依然として、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るつた1年でした。この月刊誌をご覧になつておられる皆さまにおかれましても、引き続き大変な1年だったかと思います。

昨年も、ご来院の皆さまには、入院患者さんへの面会禁止、施設内マスク着用、検温の実施、手指消毒の実施など、感染対策の徹底を強くお願いしました。また、当院では、新型コロナウイルス感染症重症化予防のために、職員や通院中の患者さん、そのほか地元の商工会や企業などを対象に、「ワクチン接種を実施しました。今後到来するとされている第8波にも、油断することなく日々備えております。

昨年の当院における特筆すべき事項として、当院主催で「第22回日本クリニカルパス学会学術集会」を開催しました。2日間にわたり、全国各地から約1,300名の医療関係者の方々にご参加いただき、盛会に終えることができました。この学会は、当院の職員が総出で役割分担をしながら、力を合わせて会を盛り上げてくれたことで、病院の結束力がより強固になつたと思つております。

新年明けましておめでとうございます。まずは、地域住民の皆さま、職員の皆さまにとつて、より良き年になることを心からお祈り申し上げます。

本邦を含め世界では、「コロナ感染症が依然として流行しております。感染はしても重症化はしない」とされていますが、基礎疾患有する者や高齢者については脅威であることは変わりません。また、医療現場では院内感染という問題もあり、まだまだ気が抜けない状態です。今こそ、世界的流行が落ち着くことを切に願うばかりです。コロナ感染症の流行に伴い、それ以外の疾病に対する医療が逼迫するという危機もあります。「コロナ感染症以外の疾患も以前と同様に我々を脅かします。これに対する対策が疎かになることを避けねばなりません。羽島郡、岐阜市の南部地区あるいはその周辺の住民の皆さんにとって住み慣れた地域で、老若男女の全ての人が安心して暮らすことができるためには、地域で支え合うことができる医療体制の整備も必要です。

当院では、従来の医療体制に加えて、新たにがん診療を充実させ、昨年12月には、当院南館にがん治療のため「薬物療法センター」を開設しました。医療は、何よりも人ととの触れ合いが大切ですので、当院は地域住民の皆さま、地域連携医療機関の皆さんと、顔の見える交流を持ち、「コロナ感染症を含めたあらゆる疾患に対する医療体制の充実とその維持に取り組んでいきたいと考えております。激動の1年になると思われますが、本年も、何卒よろしくお願い申し上げます。



社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院 病院長
松波 和寿



社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院 病院長代理
鶴見寿



社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院 介護老人保健施設
施設長
平山 宏史



社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院
看護本部長
伊藤 妙登美



社会医療法人蘇西厚生会
まつなみ健康増進クリニック
クリニック長
花立 史香

として基本的感染防止対策を継続しつつ社会や経済が活動はじめました。その中にいて入院患者さんの行動制限・面会者制限等、継続的に対策をお願いしております。ご協力いただきありがとうございます。

しかし、12月に入り感染者が毎週増加している状況が続いています。毎日、看護職が新型コロナウイルス感染陽性との報告があり看護職数不足から

病床機能が抑制される状況が余儀なくされています。その中で看護部は病院全体の看護職員の人数を確認し、安全・安心に運営できる病床数をPFMセンターと共同し決定しています。この状況の中で地域医療機関と連携をとり多職種と協力し患者さんの「一々」に沿った看護を提供できるよう努めています。

があらゆる媒体で新型コロナの情報を発信し、一部間違った情報も数多く発信されたことは皆さんもご承知のとおりです。さらに、昨年2月に始まったウクライナ戦争も偽情報が発信され、なかでもA-1で作成した偽動画は、見破ることが困難と言われています。

医療の現場においても同様で、正しい情報と誤情報が巷に氾濫し、眞偽を見極めるのは容易ではありません。ある高名な学者の発言ですが、専門家に直接聞くのが間違いが少ない

基礎から最新の知見にいたるまで精通しているため、表層的な誤情報に惑わされる可能性が低いのです。健康に関することも同様で、「自分で勉強されることは非常に大切なことです。しかし何かを決定するときは、専門家と相談されるのが最良の方策への近道と考えます。

病気・健康・医療費等で心配事がありましたら「是非、当院のスタッフに遠慮なくお尋ね下さい。皆さんが健やかにお過ごしになれますように、全力でサポートさせていただ

収束が見通せない状況が続いている。当施設においても面会制限を含む厳格な感染対策等により利用者の皆さまにもご迷惑、ご心配をおかけしております、心よりお詫び申し上げます。

当施設は利用者さまの心身機能の維持回復と在宅生活への復帰支援を目的とし、家庭的な雰囲気の中で健やかな生活を送ることができるよう

取り組んでおります。
また在宅生活復帰後の支援
のために通所リハビリテーション
部門も併設し、当法人設置の
まつなみケアプランセンターへ
訪問看護ステーション、訪問
介護ステーション、訪問リハビリ
テーション事業所とも緊密に
連携をとりながらより質の
高いサービスの提供に努めて
まいる所存でございますので
今年も何卒よろしくお願い